

日英協約の締結は、我が國の對英外交上、極度の重要なる事柄に屬す。故に國策の決定に當りては、英政府の意向を深く察し、之に對して妥協の道を探らねばならぬ。然るに、英政府の意向は、如何なるに在らんや。其の真意を察知すべし。故に日英協約の締結に當りては、英政府の意向を深く察し、之に對して妥協の道を探らねばならぬ。...

◎ 日英協約の締結に當りては、英政府の意向を深く察し、之に對して妥協の道を探らねばならぬ。...

◎ 日英協約の締結に當りては、英政府の意向を深く察し、之に對して妥協の道を探らねばならぬ。...

「兩黨ノ合同ハ最早論ズル必要ガナイ位デアアル、我々ノ鬭争目票ハ決シテ御互同志ニアルノデハナク資本家財閥ニアルノデアアル。御互ハ合同セホバナラスト云フ氣持ヲ忘レナイデ來ル五月一日ノミーデーニハ決シテ同志ノ泥試合的行爲ヲヤラナイト云フ事ヲコノ席上デ申合セヲシテハ如何」

後 藤 甚 六（大衆）

「私ハ何時モ合同ニハ贊成ダガ合同ガ何時モ實現セナイノハ組合ノ人達ガアマリニ繩張り的ナ氣持ヲ固守シコノ氣持ヲステナイカラデアアル。組合ノ人達ハ今迄ノ繩張り主義ヲ排シテ合同セウト云フ氣持デ合同ノ爲ニ熱心ニ努力シテ頂キタイト思フ」

野 田 律 太（勞働週報）

「昨今ハ懇談會時代デアアル至ル所ニ懇談會ガ開カレテ居ルガコレハ凡テ全合同ヘノ歩ミデアアルト思フ。」

私ハコノ渦巻カラ離レテコレヲ見タ時ニ始メテ對立シテ居ル事